

小説

『約束した街』

伊兼 源太郎 著

5日後ロンドンに赴任する商社マン・結城の元に、中学卒業以来一度も会っていない幼馴染の娘と名乗るジーナが現れた。行方不明になった母を探してほしいという彼女と、故郷である神戸へ手掛かりを求め共に向かうが……。過去の罪を共有する仲間たちの憂悶を描いた長編ミステリー。

趣味 実用

『日本一長く服役した男』

杉本 宙矢 著

21歳で無期懲役の判決を受け、半世紀以上もの歳月を塙の中で過ごした83歳の男が仮釈放された。刑務所での振る舞いが体に染みつき、自由に戸惑う謎めいたその男の贖罪意識はどこへ向かうのか。罪と罰の概念、懲役の本質、更生の意味とは何かを問う密着ドキュメンタリー。

小説

『アミュレット・ホテル』

方丈 貴恵 著

偽装パスポートに武器、違法薬物でも何でもルームサービスでお申し付けください。ただしホテルに損害を与える、また敷地内で傷害・殺人事件を起こすことは禁じます。警察の捜査が一切入らない犯罪者御用達のホテルを舞台に、規則破りの客たちへ優秀なホテル探偵が牙を剥く！

趣味 実用

『栄養学の基本ゆる図鑑』

中村 丁次 監修

「ビタミンやミネラルなどよく耳にするけれど、どんな役割をしているの?」「炭水化物ダイエットって効果ある?」知っていると絶対お得な栄養素の基本や、体調のあらゆる症状に応じたオススメ食材まで、ゆるっと頭に入るイラストで、栄養学の基本をわかりやすく解説します。

小説

『ひとつこひとり』

東 直子 著

誰と一緒にいてもひとはひとり——。家族に秘密を打ち明けようか葛藤する主婦。わだかまりを抱えたまま母の葬儀を迎える娘。中学時代の恩師に押し切られるように自宅に招かれる元・教え子……。誰もが日常で交わすありふれたひとことが言霊のように心に風を通す12の短編集。

趣味 実用

『筆記具』

暮らしの図鑑編集部 編

パソコンやスマホでコミュニケーションや情報のやり取りするのが日常になった今、手を動かして文字や絵を描いていますか? 本当にいいものを取り入れ、自分らしい暮らしを送りたい人に向けた暮らしの図鑑がきらめく筆記具の世界へご案内。あなたのお気に入りの1本に出会えるかも!

小説

『けじょうこく劇場國の怪人』

乾 緑郎 著

江戸中の憧れの的、市村座の筆頭女形・瀬川菊之丞せがわきくのじょうが姉のように慕う兄弟子の溺死。その市村座の同じ棧敷をずっと買い占める、一度も姿を現わさない客。二つの真相を追ううちに見えてきたのは禁断の恋獄に落ちた男の姿だった。芝居小屋うごめに蠢く情念を描いた時代エンタメ小説。

趣味 実用

『いのちのガーデン』

山崎 亮子 著

アイヌ語でマオイと呼ばれる丘にある「森の庭」は、私も、植物も生き物も、みんなそのまま、あるがまま——。原因不明の難病を抱えながら、森へとけこむような花と緑のガーデンを育む車椅子のガーデナーが四季折々の庭仕事や手仕事、紆余曲折の闘病生活、家族のことを柔らかに語ります。

小説

『眠れる記憶』

パトリック・モディアノ 著

老齢を迎えた「僕」は、「出会いの時」という本のタイトルに惹きつけられる。空っぽの時間を過ごすのが怖かった青年期のことを思い起こしては、女性たちとの出会いと別れ、そして再会の思い出を記憶の奥底から呼び覚まし…。ノーベル文学賞受賞後第一作となる表題作と他1編による小説集。

趣味 実用

『ぼくはあと何回、満月を見るだろう』

坂本 龍一 著

今年の3月、世界的音楽家が亡くなった。「芸術は長く、人生は短し」ということばを好んだ坂本龍一が、自らに残された時間を悟り、創作のこと、社会的活動に対する熱意、ルーツを語った一冊。盟友による最期の日々を綴った書き下ろし原稿も収録した偉大な軌跡を辿る自伝。